

○乾燥弱毒生水痘ワクチン [注]

【重要度】 【一般製剤名】 弱毒生水痘ワクチン Varicella Vaccine Live Attenuated 【分類】 生ワクチン製剤

【単位】 ○弱毒生水痘ウイルス岡株 1000PFU 以上/V [溶解用注射用水]

【常用量】 水痘及び 50 歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に適用

添付の溶剤（注射用水）0.7mL で溶解し、その 0.5mL を 1 回皮下に注射

【用法】 皮下注

▼小児定期接種

生後 12～36 月で 3 か月以上の間隔で 2 回接種

標準的には 1 回目は生後 12～15 月、2 回目は 1 回目から 6～12 月経過後に接種

▼成人帯状疱疹予防

1 回接種

【透析患者への投与方法】

透析患者での帯状疱疹発症抑制効果あり（60 代のうちに導入後早期に接種） [HR0.49; 95%CI 0.29-0.85] (Tseng HF, et al: Clin Infect Dis 2016 PMID: 26671505)

【保存期 CKD 患者への投与方法】

CKD 患者でも帯状疱疹発症抑制効果あり (Langan SM, et al: Nephrol Dial Transplant 2016 PMID: 26769683)

【特徴】

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】 腎移植レシビエントに発生した水痘の症例 (Ortiz-Brizuela E, et al: Vaccine 2019 PMID: 31109718)

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】 悪性腫瘍, DM, 自己免疫疾患, CKD (eGFR 平均 50 程度) があっても接種における安全性に問題は認めなかった (Ohfuji S, et al: BMC Infect Dis 2019 PMID: 30691396)

免疫抑制患者では抗体価よりも T 細胞機能評価が防御能評価に有用かもしれない (Righi E, et al: Viral Immunol 2019 PMID: 30694731)

50 歳以上への接種にて帯状疱疹発症リスクが 34%低下 [スウェーデンコホート] (Blom K, et al: Vaccine 2019 PMID: 31230884)

【更新日】 20230526

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。